



医療法人北祐会

北祐会神経内科病院

道内唯一導入のロボットスーツ医療用HALを 札幌龍谷学園高等学校の生徒が見学に来ます！

医療法人北祐会 北祐会神経内科病院は去年12月にロボットスーツ医療用HALを導入し、多くの神経難病の患者さんへ治療を実施してきております。(延べ人数26名)

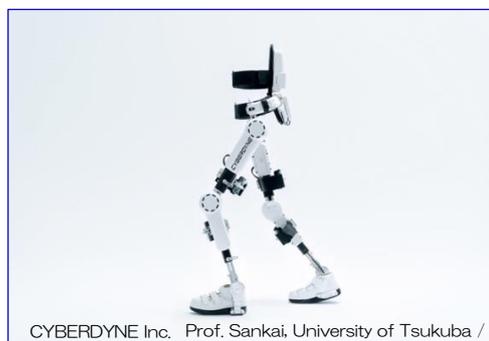
今回、教育機関からロボットスーツ医療用HALの見学依頼は初で、札幌龍谷高等学校の生徒が訪問予定となっております。ロボットスーツを見学する学生は、ロボットとプログラミングを研究する部活に所属する生徒。その他看護や介護職に興味がある生徒も合わせて約10名。今回の来院で、生徒の職業選択を早い段階から意識付けする事により、現在目指している職業へのイメージを膨らませる事でのモチベーションアップや、職業のミスマッチを減らす取り組みのひとつでもあります。高校生が職業選択の意識を持って主体的な進路選択ができるよう、医療機関としてできる限り協力し、今後も依頼があれば受け入れていく方針です。

ロボットスーツ【医療用HAL】

【日 時】 平成29年12月5日(火)
15:30~17:00

【場 所】 医療法人北祐会 北祐会神経内科病院

【住 所】 札幌市西二十四軒2条2丁目4-30



CYBERDYNE Inc. Prof. Sankai, University of Tsukuba /

●医療法人北祐会

昔は北海道大学に神経内科の講座がない中で、顧問の田代邦雄先生と前院長(故濱田 毅)が、神経難病に苦悩する患者様が入院できる施設の必要性を強く訴え、昭和57年に北祐会が誕生しました。9人の神経内科専門医が集結し、医師一人ひとりが専門領域をもつ事と、神経内科分野ではいち早く専門病院を立ち上げたことも重なり、より多くの症例数を積み重ねてきております。その実績を生かし、患者様一人ひとりのオーダーメイド診療を得意とした神経筋疾患の専門病院です。また去年11月には札幌駅から徒歩5分の場所に、札幌パーキンソンMS神経内科クリニックを開設。道内のクリニックとしてはリハビリスペースが最大級で、外来で理学療法、作業療法、言語療法をする事ができるのも特徴の一つです。

本件に関してのお問い合わせ

医療法人北祐会 北祐会神経内科病院

URL:<http://www.hokuyukai-neurological-hosp.jp>

広報担当:磯西 潤

Mail:j-isonishi@hokuyukai-neurological-hosp.jp

Tel:011-631-1161 Fax:011-631-1163

携帯電話:090-8903-2637

〒063-0802 札幌市西区二十四軒2条2丁目4-30